



# Sun™ Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Blade™ X6270 サーバーモジュール

---

Sun Microsystems, Inc.  
www.sun.com

Part No. 820-7774-11  
2009 年 9 月、Revision A

このドキュメントに関するコメントを送信するには、<http://docs.sun.com> にある「Feedback[+]」リンクをクリックします。

Copyright 2009 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に組み込まれた技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

この配布には、第三者が開発した構成要素が含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Java、Sun Blade は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社またはその子会社の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

Intel は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Adobe のロゴマークは、Adobe Systems, Inc. の登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

予備または交換用の CPU の使用は、米国の輸出法に従って輸出された製品に搭載されている CPU の修理または 1 対 1 での交換に制限されています。米国政府の許可なしに、製品のアップグレードに CPU を使用することは、厳重に禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。



Please  
Recycle



Adobe PostScript

# 目次

---

はじめに v

1. **ILOM 3.0** の機能セット 1

ILOM の概要 2

サポートされているプラットフォームファームウェア 2

ILOM 3.0.6 でサポートされている機能 3

ILOM 3.0.6 でサポートされていない機能 3

ILOM プラットフォーム固有の機能 3

2. **Sun Blade X6270** サーバーモジュール用の **ILOM 3.0** プラットフォーム機能 5

ILOM サイドバンド管理 6

    サイドバンド管理における注意事項 6

    ▼ Web インタフェースを使用してサイドバンド管理を設定する 7

    ▼ CLI を使用してサイドバンド管理を設定する 8

    ▼ ホスト BIOS セットアップユーティリティを使用してサイドバンド管理を設定する 10

サーバーと CMM で検出される障害を解決する 14

SP コンソールとホストコンソール間でシリアルポート出力を切り替える 15

    ▼ Web インタフェースを使用してシリアルポート出力を切り替える 15

    ▼ CLI を使用してシリアルポート出力を切り替える 16

ILOM のサーバー管理メトリックス	17
センサーとインジケータに関する参照情報	17
温度センサー	18
ファンセンサー	18
電源装置センサー	18
存在センサー	19
システムインジケータ	20

# はじめに

---

この『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足マニュアル Sun Blade X6270 サーバーモジュール』には、Sun Blade X6270 サーバーモジュール固有の ILOM 3.0 ファームウェアに関する情報が含まれます。

ユーザー手順を含む ILOM 3.0 およびその機能の詳細情報については、[v ページの「関連マニュアル」](#)にリストされている ILOM 3.0 のドキュメントを参照してください。

---

## 製品のアップデート

Sun Blade X6270 サーバーモジュール用にダウンロードできる製品の更新については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/download/>

ハードウェアドライバのセクションを検索し、「x64 Servers & Workstations」をクリックします。Sun Blade X6270 サーバーモジュールのサイトには、CD-ROM ISO の画像に加え、ファームウェアとドライバのアップデートが含まれています。

---

## 関連マニュアル

次の表にリストされているドキュメントは、次のサイトでも閲覧できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.x6270>

タイトル	内容	Part No.	形式
『Sun Blade X6270 サーバーモジュールご使用にあたって』	サーバーモジュールに関する最新情報	820-7777	PDF HTML
『Sun Blade X6270 サーバーモジュールご使用の手引き』	サーバーモジュール設定の基本的なインストール情報	820-7762	PDF 印刷
『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』	サーバーモジュール設定の詳細なインストール情報	820-7765	PDF HTML 「印刷」 オプション
『Sun Blade X6270 サーバーモジュール Linux、VMware、OpenSolaris、および Solaris オペレーティングシステムインストールガイド』	Linux、VMware、OpenSolaris、および Solaris オペレーティングシステムのインストール方法	820-7768	PDF HTML
『Sun Blade X6270 サーバーモジュール Windows オペレーティングシステムインストールガイド』	Windows Server オペレーティングシステムのインストール方法	820-7771	PDF HTML
『Sun Installation Assistant for Windows and Linux User's Guide (Windows および Linux 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド)』	Windows または Linux オペレーティングシステムのインストール時の Sun Installation Assistant (SIA) の使用方法	820-6352	PDF HTML
『Sun Blade X6270 Server Module Service Manual』	サーバーモジュールの維持管理およびアップグレードに関する情報と手順	820-6178	PDF HTML
『x64 Servers Utilities Reference Manual』	x64 サーバーとサーバーモジュールに共通のアプリケーションおよびユーティリティの使用に関する情報	820-1120	PDF HTML
『Sun x64 サーバー診断ガイド』	x64 サーバーで提供されている診断ソフトウェアツールの使用方法に関する情報	820-7813	PDF HTML
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) の機能更新およびリリースノート』	ILOM ソフトウェアの新規機能とリリースノート	821-0647	PDF
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』	ILOM の特徴および機能に関する情報	820-7370	PDF HTML

タイトル	内容	Part No.	形式
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』	ネットワーク接続、ILOM への初回ログイン、およびユーザーアカウントやディレクトリサービスの設定に関する情報および手順	820-7382	PDF HTML
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』	ILOM Web インタフェースを使用して ILOM 機能にアクセスするための情報および手順	820-7373	PDF HTML
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』	ILOM CLI を使用して ILOM 機能にアクセスするための情報および手順	820-7376	PDF HTML
『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 SNMP および IPMI 手順ガイド』	SNMP または IPMI 管理ホストを使用して ILOM 機能にアクセスするための情報および手順	820-7379	PDF HTML
『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	すべての Sun のハードウェアシステムに関する、複数言語でのハードウェアの安全性とコンプライアンス情報	816-7190	印刷
『Safety and Compliance Guide (安全の手引き)』	安全性とコンプライアンスに関する重要な情報	820-6551	PDF

これらのドキュメントの一部については、上記の Web サイトでフランス語、簡体字中国語、および日本語の翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

## マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun のサービス	URL
Sun のドキュメント	<a href="http://docs.sun.com/">http://docs.sun.com/</a>
サポート	<a href="http://jp.sun.com/support/">http://jp.sun.com/support/</a>
トレーニング	<a href="http://jp.sun.com/training/">http://jp.sun.com/training/</a>

# 書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% <b>su</b> Password:
AaBbCc123	コマンド行の変数部分。実際の名前や値と置き換えてください。	<b>rm filename</b> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% <b>grep</b> `^#define \ XV_VERSION_STRING`

\* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

## サードパーティーの Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。



---

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。<http://docs.sun.com>の「フィードバック [+]」のリンクをクリックして、このドキュメントに関するコメントを送信してください。ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

Sun Integrated Lights Out Manager 3.0 補足マニュアル Sun Blade X6270 サーバーモジュール、Part No. 820-7774-11。



# 第1章

## ILOM 3.0 の機能セット

---

この章では、ILOM の簡単な概要説明を行い、ILOM 3.0 で提供されているILOM 共通のプラットフォーム機能の目的を定義しています。この章では、次のトピックが説明されています。

- 2 ページの「ILOM の概要」
- 2 ページの「サポートされているプラットフォームファームウェア」
- 3 ページの「ILOM 3.0.6 でサポートされている機能」
- 3 ページの「ILOM 3.0.6 でサポートされていない機能」
- 3 ページの「ILOM プラットフォーム固有の機能」

---

## ILOM の概要

Integrated Lights Out Manager (ILOM) は、x64 ベースのサーバーにプリインストールされているシステム管理用ファームウェアです。ILOMによって、サーバーにインストールされているコンポーネントをアクティブに管理、監視できます。ILOM は SNMP インタフェースと IPMI インタフェースに加え、ブラウザベースのインタフェースとコマンドラインインタフェースを提供しています。ILOM 3.0 の使用方法と機能についての一般情報は、次の ILOM のドキュメントを参照してください。

- Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の機能更新およびリリースノート (821-0647)
- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』 (820-7382)
- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』 (820-7370)
- Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド (820-7373)
- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』 (820-7376)
- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 SNMP および IPMI 手順ガイド』 (820-7379)

---

注 – サーバーサービスプロセッサ (SP) で最初に ILOM と接続を確立する際の情報について詳しくは、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』 (820-7765) の「ILOM の設定」を参照してください。

---

---

## サポートされているプラットフォームファームウェア

表 1-1 は Sun Blade X6270 サーバーモジュールでサポートされている ILOM および BIOS のファームウェアのバージョンを識別します。

表 1-1 サポートされているプラットフォームファームウェア

ILOM SP バージョン	ホスト BIOS バージョン	適用可能なハードウェア
3.0.6.10	07.04.40.04	Sun Blade X6270 サーバーモジュール

---

## ILOM 3.0.6 でサポートされている機能

この章では、ILOM 3.0.6 でサポートされている ILOM の新機能について説明します。

Sun Blade X6270 サーバーモジュールは、ILOM リリース 3.0.6 で次の新しく拡張された電源管理機能をサポートしています。

- コンポーネント割り当て電源配分
- 電力割当量
- CMM システムの電源装置の冗長性
- プラットフォーム固有の CMM 電源メトリックス

これらの新機能の詳細説明については、『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) の機能更新およびリリースノート』(821-0647) を参照してください。

---

## ILOM 3.0.6 でサポートされていない機能

Sun Blade X6270 サーバーモジュールは、ILOM 3.0.6 のストレージ監視機能 (別名ストレージビューア) をサポートしていません。ストレージ監視機能はほかのいくつかの x64 サーバープラットフォームでサポートされています。

---

## ILOM プラットフォーム固有の機能

ILOM 3.0 は多くのプラットフォーム上で動作し、すべてのプラットフォームに共通する機能をサポートしています。ILOM 3.0 の機能の中には、すべてのプラットフォームではなく一部のプラットフォームでのみ使用できるものがあります。この ILOM 補足マニュアルでは、Sun Blade X6270 サーバーモジュールに属する機能について説明しています。

この補足マニュアルの第 2 章では、Sun Blade X6270 サーバーモジュールでサポートされている ILOM プラットフォーム機能についての詳細情報を提供しています。



## 第2章

# Sun Blade X6270 サーバーモジュール用の ILOM 3.0 プラットフォーム機能

---

この章には、Sun Blade X6270 サーバーモジュール固有の ILOM 3.0 の機能に関する情報が含まれます。

この章では、次のトピックが説明されています。

- [6 ページの「ILOM サイドバンド管理」](#)
- [14 ページの「サーバーと CMM で検出される障害を解決する」](#)
- [15 ページの「SP コンソールとホストコンソール間でシリアルポート出力を切り替える」](#)
- [17 ページの「ILOM のサーバー管理メトリックス」](#)
- [17 ページの「センサーとインジケータに関する参照情報」](#)

---

注 – すべての x64 サーバーでサポートされている通常の ILOM 3.0 の機能に加えて、この章で説明されている Sun Blade X6270 サーバーモジュールの ILOM プラットフォーム固有の機能はサポートされています。

---

---

# ILOM サイドバンド管理

デフォルトでは、帯域外のネットワーク管理ポート (NET MGT) を使用してサーバーモジュールのサービスプロセッサ (Service Processor、SP) に接続します。ILOM のサイドバンド管理機能を使用して、サーバーモジュールのインバンドポートまたはサイドバンドポートである NET MGT ポートまたはギガビット Ethernet ポート (NET 0 または NET 1) を選択し、サーバー SP との間で ILOM コマンドを送受信できます。

サーバーの SP の管理にサイドバンド管理ポートを使用することによって、必要なケーブル接続とネットワークセッションが 1 つ少なくなるという利点があります。データセンターのように非常に多くのサーバーが管理されている構成では、サイドバンド管理によってハードウェアとネットワークの使用が大幅に節約できます。

---

**注** – SSH、Web、Sun ILOM リモートコンソールなどのネットワーク接続を使用して SP に接続している場合は、SP 管理ポート設定の変更時にサーバー SP との接続が失われる場合があります。

---

Web インタフェース、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI)、BIOS、または IPMI のいずれかを使用してサイドバンド管理を設定できます。手順については、次のセクションを参照してください。

- [6 ページの「サイドバンド管理における注意事項」](#)
- [7 ページの「Web インタフェースを使用してサイドバンド管理を設定する」](#)
- [8 ページの「CLI を使用してサイドバンド管理を設定する」](#)
- [10 ページの「ホスト BIOS セットアップユーティリティを使用してサイドバンド管理を設定する」](#)

## サイドバンド管理における注意事項

ILOM でサイドバンド管理が有効になっていると、次の状態が発生する場合があります。

- SSH、Web、Sun ILOM リモートコンソールなどのネットワーク接続を使用して SP に接続している場合は、SP 管理ポート設定の変更時にサーバー SP との接続が失われる場合があります。
- SP とホストオペレーティングシステム間でのインチップ接続が、オンボードホストであるギガビット Ethernet コントローラでサポートされていない可能性があります。この状況が発生した場合は、L2 のブリッジ/スイッチ機能を使用する代わりに、送信元と送信先のターゲット間でのトラフィック送信に別のポートや経路を使用します。



- サーバーホストの電源サイクルによって、サイドバンド管理用に設定されているサーバーのギガビット Ethernet ポート (NET 0, 1, 2, 3) のネットワーク接続が短時間中断する場合があります。この状況が発生した場合は、隣接するスイッチポートとブリッジポートをホストポートとして設定します。

---

注 - ポートがスイッチポートとして設定されており、Spanning Tree Protocol (STP) に参加している場合、スパニングツリーの再計算のため、停止時間が長くなる場合があります。

---

## ▼ Web インタフェースを使用してサイドバンド管理を設定する

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. ILOM Web インタフェースで、「Configuration」 --> 「Network」を選択します。  
「Network Settings」ページが表示されます。

ABOUT  
Role (User): Administrator (root) SP Hostname :  
Sun™ Integrated Lights Out Manager

System Information System Monitoring Configuration User

System Management Access Alert Management Network Ser

### Network Settings

View the MAC address and configure network settings for the Service Processo  
IP address. Select the radio button next to the appropriate mode, then enter sett

MAC Address:

Obtain an IP Address Automatically (use DHCP)

Use the Following IP Address

IP Address:

Subnet Mask:

Gateway:

Management Port:

Out Of Band MAC Address:

Sideband MAC Address:

Save

3. 「Network Settings」 ページで、次の手順を実行します。
  - a. 「DHCP」を選択して IP アドレスを自動的に取得するか、適切な IP アドレスを指定します。
  - b. 「Management Port」のドロップダウンリストをクリックし、使用する管理ポートをクリックします。

ドロップダウンリストから、 $n$  が 0 か 1 の 2 個のギガビット Ethernet ポートである /SYS/SP/NET $n$  のうち、いずれかを変更できます。

SP NET MGT ポートである /SYS/SP/NET0 がデフォルトです。
  - c. 「Save」をクリックして変更を有効にします。

## ▼ CLI を使用してサイドバンド管理を設定する

1. CLI を使用し、次のいずれかの操作を行って ILOM に接続します。
  - SP のシリアルコンソールポートを使用して ILOM に接続します。

操作方法については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュール設置マニュアル』(820-7765) または <http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic> の ILOM ドキュメントコレクションを参照してください。
  - ターミナルウィンドウを開いて次のとおりに入力します。

```
$ ssh root@serveripaddress
```

Password: *password*

ルートアカウントのデフォルトのパスワードは `changeme` です。

ILOM CLI のプロンプト (->) が表示されます。

2. 現在のポートの設定を表示するには、次のとおりに入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークのプロパティが表示されます。たとえば、次のように入力します。

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
macaddress = 11.11.11.11.11.86
managementport = /SYS/SP/NET0
outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
  pendingmanagementport = /SYS/SP/NET0
sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

上記の出力では、macaddress は、outofbandmacaddress と同じで、managementport がデフォルトの /SYS/SP/NET0 に設定されています。

3. SP 管理ポートをサイドバンドポートに設定するには、次のとおりに入力します。

-> **set /SP/network pendingmanagementport=/SYS/MB/NET $n$**

$n$  が 0 または 1 の場合。

-> **set commitpending=true**

#### 4. 変更を表示するには、次のとおりに入力します。

-> **show /SP/network**

ネットワークプロパティが表示され、変更が有効になったことを通知します。  
たとえば、次のように入力します。

```
/SP/network
Targets:
Properties:
  commitpending = (Cannot show property)
  dhcp_server_ip = none
  ipaddress = xx.xx.xx.xx
  ipdiscovery = static
  ipgateway = xx.xx.xx.xx
  ipnetmask = xx.xx.xx.xx
macaddress = 11.11.11.11.11.87
managementport = /SYS/MB/NET
  outofbandmacaddress = 11.11.11.11.11.86
  pendingipaddress = xx.xx.xx.xx
  pendingipdiscovery = static
  pendingipgateway = xx.xx.xx.xx
  pendingipnetmask = xx.xx.xx.xx
pendingmanagementport = /SYS/MB/NET
sidebandmacaddress = 11.11.11.11.11.87
  state = enabled
```

上記の出力では、macaddress が sidebandmacaddress と一致し、  
managementport が pendingmanagementport と一致しています。

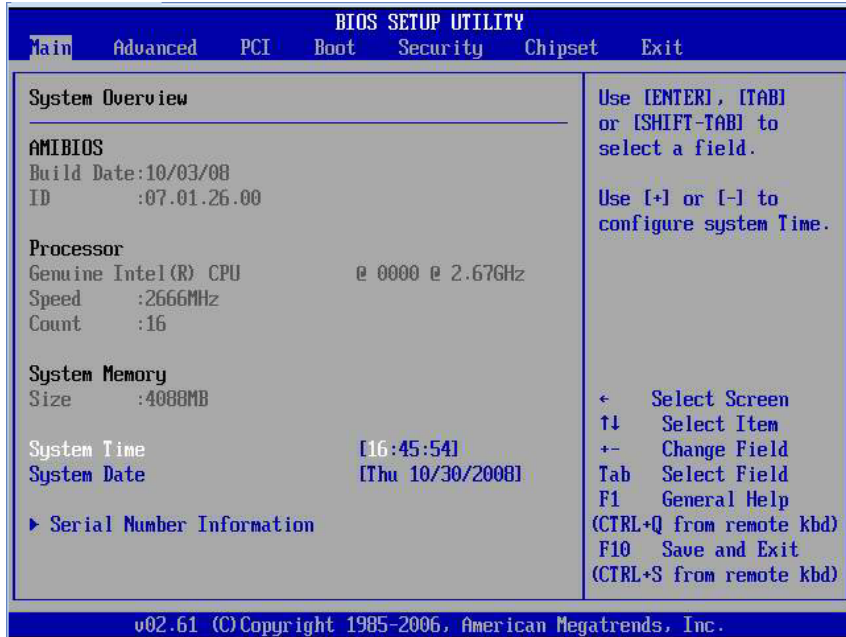
## ▼ ホスト BIOS セットアップユーティリティーを使用してサイドバンド管理を設定する

次のインタフェースから BIOS セットアップユーティリティーメニューにアクセスできます。

- サーバーに直接接続されている USB キーボード、USB マウス、VGA モニターを使用します。
- サーバーの背面パネルにあるシリアルポート経由で、ターミナル (またはコンピュータに接続されているターミナルエミュレータ) を使用します。
- Sun ILOM リモートコンソールを使用して、サーバーに接続します。

ホスト BIOS セットアップユーティリティーを使用してサイドバンド管理を設定するには、次の手順を実行します。

1. サーバーの電源を入れるか、電源を再投入します。
2. BIOS セットアップユーティリティを開始するには、システムが電源投入時自己診断 (Power-On Self-Test、POST) を実行中に F2 キーを押します。  
BIOS セットアップユーティリティが表示されます。



3. BIOS セットアップユーティリティのダイアログで、「Advanced」 --> 「IPMI Configuration」を選択します。

「IPMI Configuration」メニューが表示されます。



4. 「IPMI Configuration」メニューで、「Set LAN Configuration」オプションを選択します。

「LAN Configuration」メニューが表示されます。

BIOS SETUP UTILITY	
Advanced	
<b>LAN Configuration.</b>	
Channel Number	[01]
IP Assignment	[Static]
Current IP address in BMC:	010.008.145.168
Current MAC address in BMC:	00.14.4F.CA.B2.F4
Current Subnet Mask in BMC:	255.255.255.000
Current Gateway in BMC:	010.008.145.254
Current Active Management Port	NET0
Refresh	
IP Address	[010.008.145.168]
Subnet Mask	[255.255.255.000]
Default Gateway	[010.008.145.254]
Active Management Port	[NET MGT]
Commit	
Enter channel number for SET LAN Config Command. Proper value below 16.	
← Select Screen ↑↓ Select Item Enter Update F1 General Help (CTRL+Q from remote kbd) F10 Save and Exit (CTRL+S from remote kbd) ESC Exit	
v02.61 (C) Copyright 1985-2006, American Megatrends, Inc.	

5. 「LAN Configuration」メニューで、次を実行します。
  - a. 「Active Management Port」オプションを選択し、Enter を押します。  
 サイドバンド管理に使用可能なポート設定 (Net0 と Net1) をリストしたタブが表示されます。
  - b. このタブで、サイドバンド管理に適切なポート設定を選択し、「Commit」を選択して変更点を有効にします。

---

# サーバーと CMM で検出される障害を解決する

サーバーモジュールコンポーネントに問題が発生した場合、サーバー SP は ILOM の障害管理機能で取得される障害を生成します。サーバーモジュールがコールドブートされている場合、システムは自動的にサーバーコンポーネントの障害を解決します。

---

**注** – コールドブートは次のいずれかを参照します。1) スロットから抜いてサーバーモジュールの電源を一時的に落とし、その後電源の入っているシャーシに再接続する場合 2) サーバーモジュールを含むシャーシの電源が入っている場合

---

ILOM の障害管理機能によって取得されるほかの障害には、シャーシ監視モジュール (Chassis Monitoring Module、CMM) によって生成される障害が含まれます。これらの障害は、シャーシ内のほかのコンポーネントがたとえば次のように失敗した場合に発生します。

- CMM 障害
- ファン障害
- 電源装置障害
- NEM 障害

シャーシに関連する障害は、システムによって自動的に解決されません。ILOM CMM 上の障害管理機能でこれらの障害を解決する必要があります。CMM によって報告された障害を解決後、ILOM SP 上の障害管理機能で、シャーシに関連する障害がシステムによって解決されます。

障害を手動で解決するには、ILOM Web インタフェースまたはコマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) を使用できます。障害解決のための ILOM Web インタフェースまたは CLI の使用方法について詳しくは、次のガイドを参照してください。

- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』 (820-7373)
- 『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』 (820-7376)



---

## SP コンソールとホストコンソール間でシリアルポート出力を切り替える

SP コンソール (NET MGT) とホストコンソール (COM1) 間で、Sun Blade X6270 サーバーモジュールのシリアルポート出力を切り替えることができます。デフォルトでは、SP コンソールがシステムのシリアルポートに接続されています。この機能によってホストコンソールからの ASCII 以外の文字のトラフィックを表示できるため、Windows カーネルのデバッグに役立ちます。

ILOM Web インタフェースまたは ILOM コマンド行インタフェース (Command-Line Interface, CLI) を使用して、シリアルポート出力を切り替えることができます。操作方法については、次のセクションを参照してください。

- [15 ページの「Web インタフェースを使用してシリアルポート出力を切り替える」](#)
- [16 ページの「CLI を使用してシリアルポート出力を切り替える」](#)



---

**注意** – シリアルポートの所有者をホストサーバーに切り替える前に、SP 上でネットワークを設定する必要があります。ネットワークを設定せずにシリアルポートの所有者をホストサーバーに切り替えると、シリアルポート所有者を SP に戻す際に CLI または Web インタフェースを使用して接続できなくなります。シリアルポート所有者の設定を SP に戻すには、『Sun Blade X6270 Server Module Service Manual』(820-6178) にあるシリアルポートへのアクセスを復元する手順を実行してください。

---

### ▼ Web インタフェースを使用してシリアルポート出力を切り替える

1. ILOM Web インタフェースにログインします。
2. ILOM Web インタフェースで、「Configuration」 --> 「Serial Port」を選択します。「Serial Port Settings」ページが表示されます。

ABOUT

Role (User): Administrator (root) SP Hostname : SUNSP00144FCA1F6A

## Sun™ Integrated Lights Out Manager

System Information   System Monitoring   Configuration   User Management

System Management Access   Alert Management   Network   Serial Port

### Serial Port Settings

The serial port setting determines the flowrate of data from the serial port on the external c baud rate to the same speed as serial port 0 or /dev/ttyS0 on the external device connected over the serial port.

### Serial Port Sharing

⚠ This setting control whether the external serial port is electrically connected to the Host port. All serial port settings will be that of the Host Server.

Owner:

External Serial:

Baud Rate:

Flow Control: none

3. 「Serial Port Settings」のページで、「Host」「Server」をシリアルポート所有者として選択します。  
デフォルトでは、「Service Processor」が選択されています。
4. 「Save」をクリックして変更を有効にします。
5. シリアルホストをサーバーに接続するには、ドングルケーブルを使用します。  
サーバーにデバイスを接続する方法については、『Sun Blade X6270 Server Module Service Manual』（820-6178）を参照してください。

## ▼ CLI を使用してシリアルポート出力を切り替える

1. ILOM CLI にログインします。
2. シリアルポート所有者を設定するには、次のとおりに入力します。  
-> **set /SP/serial/portsharing /owner=host**  
デフォルトでは、owner=SP です。
3. シリアルホストをサーバーに接続するには、ドングルケーブルを使用します。  
デバイスをサーバーに接続する際のドングルケーブルの使用の詳細については、『Sun Blade X6270 サーバーモジュールサービスマニュアル』を参照してください。

---

## ILOM のサーバー管理メトリックス

ILOM 3.0 の電源管理機能により、コマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) や Web インタフェースで消費電力のメトリックスを監視できます。次の電源管理メトリックスは、すべての Sun のサーバーで共通です。

- **使用可能な電力** – サーバーモジュールの ILOM に表示される使用可能な電力メトリックは、システムシャースによってサーバーモジュールで使用可能であることが保証されている電力量の最大値を表しています。
- **実際の電力** – サーバーモジュールの ILOM に表示される実際の電力のメトリックは、サーバーによって実際に消費される電力量を表しています。
- **許容電力** – サーバーモジュールの ILOM に表示される許容電力のメトリックは、サーバーが常に消費することを保証している最大電力を表しています。

すべての Sun のサーバー向けに提供されている共通の電源管理メトリックスについて詳しくは、<http://docs.sun.com/app/docs/prod/> の『ILOM 3.0 ドキュメントコレクション』を参照してください。

または、『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の機能更新およびリリースノート』を参照してください。

---

## センサーとインジケータに関する参照情報

サーバーにはハードウェアの状態を表示するセンサーとインジケータがいくつかあります。これらのうち多くのセンサーの読み取り値は、ファン速度の調節およびほかの操作 (システムインジケータ LED の点灯やサーバーの電源の切断など) の実行に使用されます。

次の章では、ILOM が監視する Sun Blade X6270 サーバーモジュールのセンサーとインジケータについて説明します。

- [18 ページの「温度センサー」](#)
- [18 ページの「ファンセンサー」](#)
- [18 ページの「電源装置センサー」](#)
- [19 ページの「存在センサー」](#)
- [20 ページの「システムインジケータ」](#)

---

注 – ILOM で、センサーの読み取り値の取得したり、システムインジケータの状態を決定したりする方法については詳しくは、<http://docs.sun.com/app/docs/prod/> の『ILOM ドキュメントコレクション』を参照してください。

---

## 温度センサー

表 2-1 は環境センサーを表します。

表 2-1 温度センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/MB/T_AMB	温度	マザーボード周囲温度センサー 注 - このセンサーは、ストレージドライブのすぐ後ろにあるマザーボード前面の端に配置されています。
/SYS/T_AMB	温度	システム周囲温度センサー 注 - このセンサーは、ファンボードの下部に配置されています。

## ファンセンサー

表 2-2 はファンセンサーを表します。

表 2-2 ファンセンサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/FMn/Fy/TACH	速度	ファン速度センサー
/SYS/FMn/ERR	障害	ファンモジュールエラー

## 電源装置センサー

表 2-3 は電源装置センサーを表します。

表 2-3 電源装置ユニットの電流、電圧、電力センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/PSn/PRSNT	存在	電源装置の存在センサー
/SYS/PSn/ACn_ER	障害	電源装置の AC エラーセンサー
/SYS/PSn/PWROK $n$	障害	電源装置の障害センサー

# 存在センサー

表 2-4 は存在センサーを表します。

表 2-4 存在センサー

センサー名	センサータイプ	説明
/SYS/HDDn/PRSNT	エンティティの存在	ストレージデバイス存在センサー
/SYS/PSn/PRSNT	エンティティの存在	電源装置の存在センサー
/SYS/NEMn/PRSNT	エンティティの存在	ネットワーク高速モジュール存在センサー
/SYS/BLn/PRSNT	エンティティの存在	ブレード存在センサー
/SYS/MB/Pn/PRSNT	エンティティの存在	CPU 存在センサー
/SYS/MB/Pn/Dy/PRSNT	エンティティの存在	DIMM 存在センサー
/SYS/MB/RFEMn/PRSNT	エンティティの存在	ファブリック拡張モジュール存在センサー
/SYS/PEMx/PRSNT	エンティティの存在	PCI はモジュール存在センサーを表します
/SYS/CMM/PRSNT	エンティティの存在	シャーシ監視モジュール (CMM) 存在センサー
/SYS/MB/REM/PRSNT	エンティティの存在	RAID 拡張モジュール (REM) 存在センサー

# システムインジケータ

表 2-5 はシステムインジケータを表します。

表 2-5 システムインジケータ

センサー名	説明
/SYS/OK	フロントパネルのOK/電源緑色LED
/SYS/LOCATE	フロントパネルの位置特定白色 LED
/SYS/SERVICE	フロントパネルのサービスオレンジ色 LED
/SYS/OK2RM	フロントパネルの削除 OK 青色 LED
/SYS/HDD/OK2RM	ストレージドライブの削除 OK 青色 LED
/SYS/HDD/SERVICE	ストレージドライブびサービスオレンジ色 LED
/SYS/MB/Pn/SERVICE	CPU サービスインジケータ
/SYS/MB/Pn/Dy/SERVICE	DIMM サービスインジケータ